

えっとまめな介護だより Vol.21

益田市では介護人材確保のため、令和3年度から介護職場の認知度向上のための取組を実施しています。今回は、明誠高等学校福祉科で学ぶ2名の生徒に、介護実習をはじめとする授業の内容や福祉の仕事の魅力などについてインタビューしました！



インタビューにご協力いただいたのは

明誠高等学校福祉科3年

増村 優 さん (17) (写真右)

上田 夕七 さん (18) (写真左)

卒業後、増村さんは医療系専門学校へ進学、上田さんは介護事業所へ就職されるそうです！



明誠高等学校福祉科について

明誠高等学校福祉科は、島根県内の高校で唯一、福祉系高等学校の指定を受けています。在学中に介護福祉士国家試験受験資格を取得することができ、これまで約400名の現役での国家試験合格者を輩出しています。卒業後は、介護職員として働く方や、大学や専門学校に進学して保育士や看護師、理学療法士の国家資格取得を目指す方などがおられます。

明誠高等学校福祉科に入ろうと思った理由を教えてください

増村さん

中学生のとき、ボランティアで老人ホームに行きました。そのときに人と関わる楽しさを感じ、将来は人の役に立つ仕事がしたいと思って福祉科に入りました。

上田さん

もともと祖母が介護に関わる仕事をしており、介護の仕事に興味を持っていました。介護福祉士国家資格の取得を目指して福祉科に入りました。

明誠高等学校での介護実習について教えてください

増村さん

介護老人保健施設で実習を行いました。実習では、食事、入浴、排せつなどの介助を行いました。周囲に気を配ることが難しいと感じましたが、利用者の方に「ありがとう」「またお願いね」などと声をかけていただいたことで、やりがいを感じました。

上田さん

特別養護老人ホームで実習を行いました。初めは介

護職員の方の様子を見学し、徐々に利用者の方との関わりや移乗介助を実践しました。利用者の方とコミュニケーションをとるときは、利用者の方の好きなことを尋ねるようにしていました。笑顔で話をされているのを見て嬉しい気持ちになりました。

介護実習のほかにどのような授業がありますか？

増村さん

「二こころからだの理解」という授業があり、認知症、病氣、体の器官の役割、高齢になってからの心理変化などについて学びます。この授業はとても楽しかったです。

上田さん

「生活支援技術」という授業があり、生徒同士で利用者役と介護者役に分かれて介助のやり方などの実技実習を行います。この授業での経験は、介護実習でも役に立つと思います。

福祉の仕事の魅力は何だと思いますか？

増村さん

利用者だけでなく、理学療法士や医師など、たくさんの方とコミュニケーションが

とれることだと思います。生活のサポートをする仕事なので、やりがいを感じられると思います。

上田さん

福祉の仕事は、利用者の方の生活に一番密着しているものだと思います。たくさんの人と関わることでしか得られない魅力があると思います。

卒業後に挑戦してみたいことを教えてください

増村さん

体を動かすことが好きなので、いろいろなスポーツをやってみたいです。また、今は小児科の看護師を目指していますが、学校で看護について教える先生もいいなと思っています。

上田さん

絵を描くことが好きなので、働き始めても続けたいと思っています。また、介護職員としての経験を積み、介護支援専門員資格の取得に挑戦してみたいです。

インタビューにご協力いただいた増村さん、上田さん、ありがとうございました。